

# あるま めーと



## 酪農学園関東甲信越同窓会

発行者 酪農学園関東甲信越同窓会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号

東京交通会館11階 酪農学園東京オフィス内

電話 03-6269-9955

発行責任者 関東甲信越同窓会会長 岡田 勉

愛・母(フランス語)≒三愛精神の母校が絆きずな

### 新会長挨拶



関東甲信越同窓会  
第6代会長 岡田 勉  
(酪農2期)

2012年6月3日、第38回酪農学園関東同窓会(第1回酪農学園関東甲信越同窓会)が埼玉県別所沼会館で開催され、承認されました酪農2期の岡田です。

4月10日前南雲会長が健康の理由で退任したい旨の意向を役員会で発表され、25日の役員会で推薦を受けました。

私自身15年も日本に住んでいませんでしたので人脈交流がありません。不行き届きが多く発生すると思いますが、補欠バッテリーとして引き受けましたのでご協力をお願いします。

課題として、酪農学園大学の組織変更(2学群5学類)、短大の終了、後援会の公益法人化に伴い、当然同窓会も変化していくことが求められています。

流れを踏襲しつつ、関東地区では、同窓会の目的 ①親睦・連帯・発展向上(支部活動の活発) ②学園の振興(事業、入学、就職)の支援を軸に、今後の重点活動を ①組織、財政健全化(組織の統一化、各支部の通信費、交流、OBクラブ、研究室OB、同期会支援) ②情報の活発化(あるまめーとの発行、HPの利用) ③同窓生講演会の開催 ④同窓会の奨励賞の推進 ⑤(2013年度)学園80周年記念、関東地区同窓会40周年記念、連合同窓会40周年記念の準備、協力 ⑥サロン化への協力(同窓会館1階ロビーの利用)を進めていきたいと思

ます。

これを関東甲信越同窓会にあてはめてみると・・・支部相互の「高めあい」「磨きあい」「褒めあい」の機会を多く作ることであると思います。そうする事によって、酪農学園の存在感を高める。存在感が高まれば、入学者も増え、就職先も増え、さらに存在感が増すと思います。

同窓会の皆様 お互いを高めあい、磨きあい、褒めあって、酪農学園の存在感を高めていきましょう。その方法として皆さんが、同窓会、大学を活用することです。

たとえば・・・例として

- ①長野支部の永井さんの農業賞 9月  
(ホームカミングデー)
- ②酪農学園大学「元気ミルク大学」(3泊4日) 8月
- ③フォーラム 11月
- ④仕事の情報交換 同窓会
- ⑤あるまめーとの広告活用 関東甲信越同窓会

ここに東京オフィスの高澤所長がいます。東京オフィスとも気楽に交流できればと思っております。

最後に

黒沢酉蔵先生は、「酪農学園の使命」の中で ●「実学の精神とは幅広い知識と専門分野における実践能力を身につけ、想像力豊かな逞しい人間愛にあふれた人材を養成する」

●「実践とは、三愛主義の実践であり、邪心、邪念、邪相のある愛は砂上の楼閣である。実生活の体験から知力、学力を体系化し真の愛を実践していくことである。」と述べておられます。

会の発展のため皆様のご協力をお願いします。



## 会長退任にあたって

関東甲信越同窓会  
第5代会長 南雲良三  
(短大8期)

2008年の定期総会において会長に任命され5年、前任の野田修平会長からの後任として務めてまいりましたが、勝手ながら体調不良により任期半ばではありますが、会長職を辞めさせて頂くこととなりました。会員の皆様には心よりお詫び申し上げますとともにご理解の程お願い致します。5年間の在任中の主な出来事を述べさせていただきます。

始めに関東同窓会もこの度、地域支部名を関東甲信越同窓会と改め、会員数も連合同窓会の10%を占める5,500人余りとなりました。長野県支部も昨年4月に発足、目標であった1都9県の支部創設が完了致しました。

第2に学園の改革も3年目を迎えました。大きな発展に向け着実に前進していることがうかがえます。同窓会としても学生、生徒募集に係る支援として、同窓生による入試アドバイザーの選任を行い、現在5県支部において活躍しております。今後は残る県支部においても速やかな入試アドバイザーの選任を行い、本学PRの第1戦で活躍を期待するものです。

第3には東京オフィスの開設です。学園の全体改革の一環として交通至便な東京の有楽町駅前(東京交通会館11階)に移転しました。酪農学園をより多くの方々に知って頂くために入試相談会、学生や一般の方を対象にセミナーや公開講座、そして同窓生の集いの場としての利用が期待されます。

第4には、関東同窓会設立35周年の記念行事を開催したことです。平成21年度の年次総会時に、初代会長の古田修吾先輩をはじめ多くの設立以来ご貢献のあった諸先輩方をお迎えしての盛大な記念式典でした。

記憶に新しい東日本大震災ですが、その後の放射能による2次災害も含め、自然災害(一部

発行日 2013年1月

人的災害)の恐ろしさを改めて認識させられました。被災されたOBの方々を始め皆様には心からお見舞い申し上げるとともに一日も早い復興をお祈りいたします。

最後に在任中に会員の皆様方から頂いた心温まるご支援ご指導に深く感謝申し上げます。今後は岡田会長を中心に関東甲信越支部のますますの発展を期待するものです。

私が同窓会活動の在り方として日頃から思い描いております言葉を皆様に送ります。

- ・同総会はサロンであってほしい。
- ・同総会のあり方は文化遺産の共有と組織化である。

ありがとうございました。



## 特別寄稿

### 酪農学園同窓会連合会の近況について

酪農学園同窓会連合会  
会長 野村 武



常日頃、関東甲信越同窓会会員皆様方の本会活動に対するご理解、ご協力に心から感謝申し上げますと共に同窓会連合会活動の近況と課題について報告させ

て戴きます。

#### 1. 同窓会連合会の現況について(2012年6月現在)

卒業生数は大学25,917名、大学院1,440名、短大9,487名、高校18,299名、酪農義塾303名、酪農学校92,000名で総合計147,446名となり。全国を12地区同窓会(北海道5地区、東北地区、関東甲信越地区、中部地区、近畿地区、中国地区、四国地区、九州地区)に分類しその中で53支部が現在活動しており学園創立80周年を迎える期に大きな同窓会組織となっております。だが、活動が休眠している支部、未設置支部が21支部あり全国を網羅した同窓会ネットワークの形成が急務であります。

その中においても、関東甲信越地区同窓会は10支部5,527名(2012年現在:住所判明分)

## 『あるま・めーと』第19号

と会員数も多く、同窓会活動も地区・各支部の総会を立派に開催されており、酪農学園の諸行事への支援・協力はもとより酪農学園の同窓会入試アドバイザーへの協力、就職活動への支援など地区同窓会のリーダー格として立派にご活動して戴いていることに敬意を評しております。本年5月まで永年に亘り副会長として同窓会連合会運営の大黒柱としてご活躍されておられていたが体調を崩されリタイアなされた南雲 良三さんに心より感謝申し上げます。

### 2. 今後の同窓会連合会の主な課題について

#### (1) 会則の実質化と会則改正について

- ①未設置支部の設置・地区会長の選任を促進
- ②今年度初めて実施した代議員会の開催継続、代議員数・選出方法の再考
- ③支部・地区同窓会活動への支援強化  
これら会則の実質化とこれに伴う会則の改正を検討する。

#### (2) 財務健全化方策の検討について

上記を実施するにあたり組織・財務検討委員会を設置し健全な同窓会連合会活動の在り方について検討する。この事に関しては校友会(大学同窓会)が現在検討している各学科同窓会の組織一元化・会計一本化の実現が大きなポイントとなっている。

#### (3) 高校同窓会の組織統合について

11月23日5年に開催予定されているとわの森三愛高校同窓会総会(5年毎に開催)に向けて機農会、三愛会との組織統合をおこない高校同窓会の組織強化を計り、そのことにより現在課題となっている同窓会連合会県支部総会への高校同窓生の参加推進を行っていきたい。

#### (4) 酪農学園創立80周年記念事業に対する学園への要望について

同窓会会館(旧短大校舎)の改修について

- ① 会館左側教室を改修し同窓生および在校生の会合・研修の場として広く活用するスペースにして建学100年に向けて同窓会活動の中心となる会館を目指す。
- ② 短大同窓会から要望されている閉校に伴う記念事業への支援として、酪農学園の基礎を築いた短大の軌跡を後世に残す資料展示を整備する。

この事業は同窓会連合会創立40周年記念事

発行日 2013年1月

業として捉え、短大同窓会が中心となり校友会の協力により全国の同窓生への募金活動を実施し、この基金を元に学園に同窓会館の改修を強く要望する。

この事はまだ会長私案のレベルであるが同窓会連合会が自らのアクションにより来学園する同窓生の憩い場、在校生活動に広く開放する場を構築する事に意義があると考えている。



酪農2期

イタリアンレストランチェーン  
世界最大 1,300店舗以上

監査役  
**岡田 勉**

株式会社サイゼリヤ  
〒342-0008 埼玉県吉川市旭2-5  
TEL.048(991)9611 FAX.048(991)9637  
携帯:090-7265-6664  
E-mail:T.Okada@saizeriya.co.jp

獣医4期

日本獣医生命科学大学客員教授・顧問  
酪農学園大学獣医学部特任教授  
農場管理獣医師協会会長  
酪農学園大学獣医学科同窓会会長  
公益社団法人日本獣医師会顧問

獣医学博士  
獣医師 **北村直人**  
衆議院前議員(昭和61年〜平成17年)

自宅 〒158-0081 東京都世田谷区深沢4丁目1-1-412  
TEL.03-5707-2517(FAX兼)

SHINJUKU VETERINARY CLINIC  
**新宿動物病院**

院長 **高橋恒彦** 獣医18期

本院:東京都新宿区新宿7丁目11番5号けやきハウス2F  
Tel 03-5272-1323(代) Fax 03-5272-1878  
豊島分院:豊島区南長崎2丁目21番9号オーシャンナイン  
Tel 03-5982-1377(代) Fax 03-5982-1366

酪農19期

グルメ コンシェルジュ  
株式会社 **シンポフーズ**  
URL: <http://www.shinpoh.com>

営業部 マネージャー  
**鷹股修一**  
S. TAKAMATA

〒143-0011 東京都大田区大森本町1-2-20  
代表TEL: (03)5763-2411  
直通TEL: (03)5763-2425  
FAX: (03)5763-2420  
E-mail: takamata@shinpoh.com  
携帯電話: 090-1058-8804

『あるま・めーと』第19号  
**平成24年関東甲信越同窓会  
 総会の報告**

関東同窓会の総会が、6月3日（日）にさいたま市の別所沼会館に於いて埼玉県支部と合同で開催されました。

本総会は、来賓7名（福山二仁酪農学園常務理事、野村武同窓会連合会会長、永田亨後援会常務理事、黒畑勝男とわの森三愛高校副校長、須田利明後援会常務理事、浦川利幸同窓会連合会事務局長、高澤靖東京オフィス所長）を含め、35名の出席者にて運営されました。

議長に南雲会長、書記に城近事務局長を選出し議事審議に入り、第1号議案 平成23年度事業報告・決算報告、監査報告、第2号議案 平成24年度事業計画案・予算案、第3号議案 関東同窓会会則改正の件、第4号議案 役員改選の件はいずれも、執行部原案通り承認可決されました。これにより会の新名称は関東甲信越同窓会と決定致しました。

また、長年同窓会活動に尽力された南雲会長が退任され顧問に、新会長に岡田勉氏、副会長に唐仁原景昭氏がそれぞれ就任されました。

第4号議案への意見として、役員の出身母体のバランスに考慮した人選をすべしとの提案があり、次期改選期に考慮したい旨の回答がなされました。

環境シンポジウムとして、獣医6期の辨野義巳氏（理化学研究所・イノベーション推進センター・辨野特別研究室 特別招聘研究員）による「健康のヒケツは”おなか”にあった～大切な腸内環境コントロール～」の講演が開催され、好評を博しました。

（関東甲信越同窓会事務局長 城近 泰）



発行日 2013年1月  
**平成24年関東甲信越同窓会事業について**

平成24年度の関東甲信越同窓会の事業は、下記の通りです。

- 4月10日 役員会 会計監査
- 4月20日 役員会（会長人事案・総会次第確認）
- 5月12日 群馬県支部総会
- 5月13日 山梨県支部総会
- 5月19日 千葉県支部総会
- 6月 3日 **関東甲信越同窓会総会、**  
埼玉県支部総会
- 7月14日 あるまめーと編集会議
- 7月21～22日 とわの森三愛高校進学フェア（埼玉スーパーアリーナ）
- 8月 4日 東京都支部総会
- 8月11日 新潟県支部総会
- 8月12日 星野メモリアルソフトボール大会
- 9月8～9日 埼玉県支部家族キャンプ
- 11月16日 栃木県支部総会
- 11月17日 酪農大学公開講座（於：東京日比谷図書館）
- 12月 5日 関東甲信越同窓会役員会
- 12月 日 神奈川県支部総会
- 25年1～2月 関東甲信越同窓会交流会  
（関東同窓会事務局長 城近 泰）

**千葉県支部長交代のお知らせ**  
**新支部長 唐仁原 景昭**  
 （獣医2期）

平成24年度に就任されましたのでこの報告します。

# 紀行文

## 昔の人はえらかった

### 一 同行二人遍路の旅 一

関東甲信越同窓会事務局長 城近 泰



お遍路姿の城近さん  
20番札所・徳島県の  
鶴林寺にて

平成23年10月、退職を機に四国八十八か所お遍路の旅に出かけました。若い時より、空海（弘法大師）が開いた霊場を御参りするお遍路が、何百年も続いている事実に興味を覚えていました。

出かけるに当たり、目標を立てました。全行程約1200km八十八か所のお寺を順に巡ること。手段は徒歩のみ。期間中好きなお酒を断ち修行の気構えで臨むこと、です。遍路は、徳島県を起点に高知・愛媛を経て香川を巡り、また徳島の一番札所霊山寺にもどる約一月半の旅です。

寺院は山の中に建立されているのが多く、道中「遍路ころがし」と呼ばれる難所がいくつかあります。遍路宿の主人によると、最後まで歩き続ける（結願という）人は一割にも満たないそうです。白装束・輪袈裟を身に着け、菅笠をかぶり頭陀袋を提げ数珠・金剛杖を持ち重いリュックを担いで歩いていると、地元の人によく声をかけられました。そして「えらかったのう・・・」といわれました。

えらかったとは、四国の方言で「たいへんだったね、とか難儀なことでしたね」という意味ですが、関東ではえらいというと、立派ことや優れていることをいうので、「えらかったのう」といわれる度になにか面映ゆい感じがし、手を振り「いえいえ、いえいえ」などと応えていました。

白衣や傘や杖には「同行二人」と書かれており、弘法大師と二人で巡拝してるという意味があります。その為よく「お接待」を受けました。土地の人がお遍路さんにお茶やお菓子などを提供する

支部名	開催日	会場
長野県	3月17日	あがたの森文化会館
群馬県	5月12日	J A群馬研修センター
山梨県	5月13日	KKR甲府ニュー芙蓉
千葉県	5月19日	ホテルプラザ菜の花
埼玉県	6月3日	別所沼会館
関東(甲信越)同窓会	6月3日	別所沼会館
東京都	8月4日	東京オフィス
新潟県	8月11日	新潟東映ホテル
栃木県支部	11月16日	ホテルニュー塩原
神奈川県支部	12月 日	

**機農農経1期**

文化庁選択無形民俗文化財  
脚折雨乞行事保存会（4年毎オリンピック年に開催）  
雨乞行事 委員 後藤 久雄  
〒350-2213 鶴ヶ島市脚折1484-24  
携帯 090-8327-2492  
E-mail hgc510@w7.dion.ne.jp  
埼玉県支部 支部長

KVS CO:LTD今井家畜診療所  
児玉家畜ETセンター **獣医5期**

代表 今井 賢太郎

〒367-0253埼玉県本庄市児玉町河内858-1  
Tel:0495-78-0241 fax:0495-78-0509

- 和牛体内受精卵の生産・販売（宅配可）
- 牛体内受精卵の出張採卵（北関東のみ）



## 『あるま・めーと』第19号

り大幅にアップしたことが配布した表のごとく顕著にみられ、大学及び高校の改革が成果を上げてきたものと判断できるとの見解を示唆されました。その後は各支部の概況報告と出席者より同窓会活動を活発にするには何をすべきかの発言をしていただきました。

2部の宴会は、2時間飲み放題で、全員から近況報告の発表をして、楽しく和やかな交流を行い、飲み放題でも飲み足りないメンバーは幹事部屋にて2次会を開き、就寝はかなり遅くなった方々も多くおりました。

明るく13日は、朝食後解散し、それぞれの目的地に向かいました。



参加者各位

交流会は討議の場ではなく、お互い思っていることを言い合う楽しい場でもあります。次年度以降も開催する予定をしておりますので、多くの会員の皆様のご参加を期待しております。

問合せは1月中に東京オフィスにご連絡してください。

	<b>富士食品工業株式会社</b>
	取締役生産部長 <b>酪農22期</b>
	<b>渡辺 仁</b>
http://www.fujisoku.co.jp	Hitoshi Watanabe
ISO22000/FSSC22000	〒405-0013
JAS A&E	山梨県山梨市鶴岡寺170
FA-030	TEL 0553-22-2611(代)
http://www.jas-anz.org/register	FAX 0553-22-4125
	E-mail h-watanabe@fujisoku.co.jp

## トピックス



～ロンドンオリンピックに同行して～



山梨県支部 吉田 潤一

(農経第24期)

会報が届くたびに、あの広大な北海道で過ごした日々を思い出します。

大学を卒業してから20余年、当時の同級生や先輩などとは、今もなお変わらぬ友情でつながっていられることを幸せに思っています。農業や酪農に従事こそしていませんが、北海道・酪農学園大学で培った様々な体験が、今の私の原点であると感じることも多いです。

今、私は鍼灸師として山梨県甲府市で吉田鍼灸院を開業しています。たくさんの方々の支えにより、甲府に根をおろし今年で10周年を迎えました。それと同時に、トライアスロン競技のトレーナーを務めています。オリンピックの正式種目となった2000年シドニーから、アテネ・北京そして今年のロンドンと、4度のオリンピックにも帯同いたしました。選手の身体のコンディショニングはもちろんのこと、心のケアも大切な仕事であると思ひ、合宿・遠征・試合にとできるだけ鍼灸院と両立しながら充実した日々を過ごしています。

さて、あまり馴染みのなかったトライアスロンも、昨今では年齢・性別を問わずに楽しめる生涯スポーツで愛好家が増えました。ピック大会メダル争い争いのほど、日手のレベルり期待されのひとつといます。前



田山選手

ツとし  
増えて  
オリ  
でも、  
ができ  
本人選  
も上が  
る競技  
なって  
述した

のように、身体と心のバランスを整えながら治療を施していくのが私の仕事であります。それには選手と私、私と監督・コーチが、かなりの

## 『あるま・めーと』第19号

信頼関係を築いていることが大切になります。では、絶対的な信頼を得るにはどのようにしてきたのでしょうか・・・。  
普段は特別意識していませんが、これを機に考えてみることにしました。



まずひとつ目は、時間・約束を守ることと身の回りを整理整頓・清潔にしておくことです。いうまでもなく、社会人として誰もがやっていることでしょう。また、治療環境を整えておくことで、治療に集中できるし、治療される者にも不快感を与えることはありません。次に、選手の状態を確実に把握し、どんな小さな変化も見逃さず、適切な治療・アドバイスをすること、そして必要に応じて監督やスタッフと密に打ち合わせをし、迅速に解決に導くことです。それにはやはり、日常から自分の専門分野だけでなく多方面の医療、栄養学、時には人間学の勉強までも身に着けている必要があると考えています。また、様々な経験から得た「勘」を最大限に働かせることです。それらによって、指先に伝わる変化を絶対に見逃さないことにつながるのです。最後に、帯同中は選手やスタッフと常に行動を共にするという事です。食事の時間は特に気を配ります。栄養バランスや摂取の方法については栄養士さんとも話し合いますが、食欲や食べ方によっても選手のコンディションを把握することができます。練習には同行し、フォームやタイムなどから選手の心身のバランスを見極めることができます。その後の治療に何が必要か、原因は何かなどを適切に探るのにも有効です。選手・スタッフの話に耳を傾けよく聴き、まずは受け入れそらさないで向き合うことも大切であると感じています。

以上のことは特別なことではなく、当たり前のことです。その当たり前の積み重ねが、信頼

発行日 2013年1月

関係をもたらし、結果に導くことができるのではないのでしょうか。信頼関係があれば様々な困難な場面に出くわしても、全員の力で良い方向に持っていくことが可能であると思います。ロンドンオリンピックではメダルに届かず、悔しい思いもしました。まだまだ、積み重ねていかねばならぬ課題があるのでしょうかね。

選手・スタッフは、もうすでに4年後のリオを見据えて動き始めています。私も微力ではありますが、また一緒に日本の期待に応えるべく仕事を続けていきたいと思っています。一緒に戦うことの素晴らしさを実感しています。

《トライアスロン競技:水泳・自転車ロードレース・長距離走の3種目をこの順番で行う=編集者注》

<b>株式会社ゼンチク販売</b>	<b>酪農13期</b>
代表取締役 社長	
<b>川上 幸二</b>	
〒140-0001 東京都品川区北品川1-8-11 ダヴィンチ品川II 8F TEL. 03-5783-7401(代表) FAX. 03-5783-7410	

<b>酪農学園同窓会栃木県支部</b>	<b>酪農4期</b>
事務局長 <b>齊藤 達夫</b>	
〒321-0404 栃木県宇都宮市芦沼町2762 tel. 028-674-2119	

<b>ケペル動物病院</b>	<b>獣医15期</b>
院長	
獣医師 <b>大橋 透</b>	
〒165-0027 東京都中野区野方6-6-2 tel. 03-3338-3554	

酪農学園関東甲信越同窓会 役員名簿				
(任期:平成24年4月~25年3月)				
会 長	岡田 勉	酪農学科2期	千葉県支部顧問	
副 会 長	五十嵐 建夫	農経学科3期	東京都支部長 (あるまめーと編集員)	
	後藤 久雄	機農農経1期	埼玉県支部長	
	齊藤 達夫	酪農学科4期	栃木県支部事務局長	
	唐仁原 景昭	獣医学科2期	千葉県支部長	
	北村 直人	獣医学科4期	東京都支部理事	
事務局 長	城近 泰	酪農学科7期	埼玉県支部副支部長 (あるまめーと編集員)	
事務局次長	渡會 福次郎	酪農学科3期	埼玉県支部事務局長 (あるまめーと編集員)	
会 計	田中 道明	酪農学科17期	神奈川県支部長	
	益子 勲	酪農学科1期	栃木県支部長	
	三田 孝幸	獣医学科6期	群馬県支部長	
	平島 勝教	獣医学科7期	山梨県支部長	
	石月 晋	酪農学科1期	新潟県支部長	
	田中 清司	獣医学科5期	長野県支部長	
	小松 泰史	獣医学科14期	白樺会	
	満澤 恵治	機農農業21期	長野県副支部長	
	平山 久	短大6期	栃木県副支部長	
	小浦 隆文	酪農学科13期	千葉県支部理事	
	西井 義昭	短大13期	東京都支部監事	
	安達 宗之介	酪農学科3期	神奈川県支部副支部長	
	大津 初司	短大16期	群馬県支部副支部長	
	上野 達	短大10期	茨城県支部副支部長	
	古橋 治巳	獣医学科4期	茨城県支部事務局長	
	齊藤 洋	農経学科5期	神奈川県支部事務局長	
	渡辺 仁	酪農学科21期	山梨県支部事務局長	
	理 事	須田 利明	機農農経1期	後援会常務理事 (あるまめーと編集員)
		高澤 靖	農経学科6期	東京オフィス所長 (あるまめーと編集員)
		佐々木 六朗	短大11期	埼玉県支部監事 (あるまめーと編集員)
		志村 智子	短大33期	あるまめーと編集員
		野島 加代子	三愛高7期	埼玉県支部副支部長
		角 真知子	三愛高9期	神奈川県支部
		田中 可子	三愛高8期	東京都支部副支部長
		福山 二仁	獣医学科3期	東京都支部理事
		中島 剛	酪農学科3期	東京都支部理事
		理事・監事	藤村 翼	酪農学科2期
小宮 俱子	獣医学科1期		埼玉県支部理事	
顧 問	古田 修吾	酪農学園創期		
	八重樫 鉄男	短大1期		
	草地 道一	短大1期		
	戸水 雅智	短大3期		
	野田 修平	短大6期		
	南雲 良三	短大8期		

## 太田屋牧場

酪農19期

## 太田屋 進

〒351-0033  
埼玉県朝霞市浜崎390-27  
tel&fax 048-456-1852  
Email ootayafarm@yahoo.co.jp

酪農1期

酪農学園同窓会連合会山梨県支部  
昼間のうどん屋<定休日 水・木>  
水墨・墨彩画教室

墨游庵 高橋 僚一

〒408-0036山梨県北杜市長坂町中丸2, 105-1  
Tel. 0551-32-3076

Kanamachi Animal Clinic  
金町 アニマル クリニック

獣医15期

院長 増田 寿子

東京都葛飾区金町2-29-6 KACビル1F  
Tel. 03-3609-7517 Fax. 03-3609-3515

## 酪農学園同窓会栃木県支部

酪農1期

支部長 益子 勲

〒321-0135 宇都宮市五代三丁目5-43  
tel. 028-653-9762

## 酪農学園同窓会栃木県支部

酪農6期

副支部長 桑島 信也

〒321-0135 栃木県宇都宮市五代3-7-18  
tel. 028-653-2625

南雲 良三酪農学園関東同窓会前会長

## 「ご苦労さんの集い」

関東甲信越同窓会では、この程南雲さん（前同窓会連合会副会長）のご苦労さんの集いを開催しましたので内容を簡単にご報告いたします。

7月14日酪農学園東京オフィスにて、南雲さんの長年に渡る同窓会活動やその発展のために多大なご努力をしていただいたのを感謝して、ある先輩からの提案で有志の方々の集いを開催致しました。

会には、野村 武同窓会連合会会長をはじめ、大阪府や宮城県など関東甲信越以外の道府県からの参加者も見られ、この点からも南雲さんの幅広い活躍が偲ばれます。

本集いは、料理が遅れるというハプニングもありましたが、出席者の一人一人が南雲さんとの関係を発表され、和気あいあいとした楽しい集いとなりました。（同窓会連合会ホームページ掲載文より）



有限会社ハラダエンジニアリング  
一般住宅塗装・内装工事

代表取締役 原田 國明

連続繊維施工士

〒194-0022

東京都町田市森野5-3-32

tel &amp; fax 042-727-2924

(携帯)090-7173-9792

機農・農経6期

食品の衛生・安全・安心を供給する

理工協産株式会社

酪農13期

取締役 営業本部長 小浦 隆文

〒104-0028

東京都中央区八重洲2-8-1 日東紡ビル

tel 03-3281-8821 fax 03-3281-8215

URL <http://www.ricohkyosan.co.jp>

酪農学園同窓会栃木県支部

獣医3期

副支部長 荒井 徹

〒329-2707 栃木県那須塩原市高柳2-106

tel. 0287-37-1289

## 編集後記

5年にわたり会長を務められた南雲さんが、体調の関係にて任期半ばで退任されたことは同窓会にとって大変残念なことでした。在任中は、退任の挨拶にありますが、多くの実績を残してくださいました。本当にありがとうございました。今後とも本会のため諸々の助言をお願いします。後任の岡田さんも豊富な企業経験があり、知識も幅広いため、本会の発展に寄与していただけるものと思っております。誰でも楽しんで参加できる会の運営をよろしくをお願いします。

前年の定期総会で提案があつて役員会で検討していた関東地区同窓会の名称が「関東甲信越同窓会」としてこのたびの定期総会で承認され、正式に名称変更となりました。

2012年はオリンピックの年で、甲府市で開業している吉田さんがロンドン5輪にトライアスロンのトレーナーとして参加しました。残念ながらメダルには届きませんでしたが、選手には力いっぱい頑張ってくれました。トレーナーという仕事は体調のみでなく精神面のケアも必要となっており、近年のスポーツでは選手のほとんどがトレーナーのお世話になっているようです。吉田さんの今後のご活躍を期待しております。

編集員一同、会員の皆さんからのお便りをお待ちしております。

(渡會 福次郎)